※研究内容
① 食べることでカラダ本来の健康を増すオイル＝肌を元気にさせるオイルである
② 人のコアを鍛えるオイル＝肌の筋肉を鍛えるオイルである
③ 弱った箇所を強化するオイル＝美肌に役立つオイルである
という結果を導き出しました。

①『NHKで料理コーナーを持つ料理研究家』の鈴木ひとみの研究結果

食べることでカラダ本来の健康を増すオイル＝肌を元気にさせるオイルである

食べられるエッセンシャルオイルを使った一例
セイヨウネズ果実油、ウイキョウ果実油、キャラウェー果実油、
ショウガ根油、ローマカミツレ油を使ったフルコースメニュー

体に摂取することで、新陳代謝をよくさせ血行を促進させる働きを持つオイルには体温を上昇させ免疫力を高める働きがあります。
上例のフルコースを食べた方々にも同じオイルをココナッツオイルで薄めて肌に付けて頂いたところ浸透率が早く、血流が良くなり肌がほのかにピンクになりました。
そこで肌も自然の一部であるように天然由来のものこそが、肌本来の治癒力を高めるにの必要ではないか-　という信念のもと治癒力を増すオイルを使ったレシピをご紹介したところ『血行がよくなった、肌がきれくなった』という声が聞かれるようになりました。
これらの経験を基にオイルを厳選しました。

②『神戸におけるフィットネスのパイオニア』である久保弘子の研究結果

人のコア（中心）を鍛えるオイル＝肌の筋肉を鍛えるオイルである

① 何もつけていない状態では押されると筋肉の弱い側は特に大きく傾く

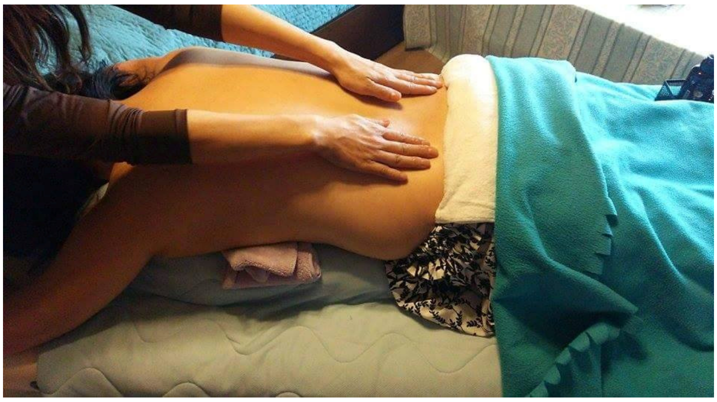
② 右手首にニュウコウジュ油左手首にオニサルビア油を塗る。

③ オイルの波動を受け、コア（中心）を捉えることができる。結果大きく傾かなくなる。

右手に塗ったオイルは左脳に働きかけ、左手塗ったオイルは右脳に働きかけます。これらのオイルがコアを鍛えることが出来るように、肌の筋肉に対しても有効であるという結論に至りました。

③『長年アロマオイル整体治療に携わる』整体師の研究結果

弱った箇所を強化するオイル＝美肌に役立つオイルである



パーキンソン病の為にオイル治療を試みていた際に、ミルラやアニス油などのオイルを古代エジプトではミイラの主要な防腐剤に使っていた事に着目しました。
これらを使った施術を行った後の患者様の肌に、ピンとしたハリの効果が現れていることに気づき美肌にも大きく効果を成すものだという結論に達しました。

※エッセンシャルオイルの効能

薬事法により日本語表示が可能なエッセンシャルオイルのみ、その効能についてまとめました。